

α -行列式とその周辺の話題

白井朋之 (九大 IMI) *

n 次正方行列 $A = (a_{ij})_{i,j=1}^n$ に対して, α -行列式 ($\alpha \in \mathbb{R}$) は

$$\det_{\alpha} A = \sum_{\sigma \in S_n} \alpha^{d(\sigma)} \prod_{i=1}^n a_{i\sigma(i)}$$

と定義される. ここで, $d(\sigma)$ は置換 σ を互換の積で表すために必要な最小の互換の個数である. 特に, $\alpha = -1$ の場合は行列式, $\alpha = 1$ の場合はパーマメント, $\alpha = 0$ の場合は行列の対角線の積に等しい. 非負定値行列 $A \succeq O$ に対して, 不等式

$$\text{per } A \geq \prod_{i=1}^n a_{ii} \geq \det A \geq 0$$

が知られており (Lieb の不等式, Fischer-Hadamard の不等式), 特に $A \succeq O$ ならば $\alpha = \pm 1, 0$ の場合, 任意の $A \succeq O$ に対して $\det_{\alpha} A \geq 0$ である. [1] において, 集合

$$\text{Pos}(\mathbb{R}) = \{\alpha \in \mathbb{R}; \det_{\alpha} A \geq 0 \text{ for every real symmetric } A \succeq O\}$$

について考察したが (エルミート行列に対しても同様に $\text{Pos}(\mathbb{C})$ が定義される), $\det_{\alpha} A$ の正值性の問題は ある確率場の存在 (存在する場合は α -行列式点過程と呼ぶ) と関係があり,

$$\text{Pos}(\mathbb{R}) \supset \left\{ -\frac{1}{n}; n \in \mathbb{N} \right\} \cup \{0\} \cup \left\{ \frac{2}{n}; n \in \mathbb{N} \right\}$$

を示した. 本講演では, この問題の確率論からの動機と関連結果を概観する.

キーワード: α -行列式の定義と性質, α -行列式の正值性, 点過程の相関関数としての α -行列式, Wishart 行列と α -行列式, マルコフ過程のグリーン核に付随する α -行列式点過程のループ測度による表現.

参考文献

- [1] Y. Takahashi and T. Shirai, Random point fields associated with certain Fredholm determinants (I): fermion, Poisson and boson point processes, J. Funct. Anal. **205** (2003), 414–463.
- [2] T. Shirai, Remarks on the positivity of α -determinants, Kyushu J. Math. **61** (2007), 169–189.
- [3] T. Osogami, T. Shirai and H. Waki, Remarks on positivity of α -determinants via SDP relaxation, J. Math-for-Industry **5** (2013A-1), 1–10.